

広 報



きたうら

No.217

人口と世帯数	
	1月1日現在
人 口	11,251(-5)
男	5,608
女	5,643(-5)
世帯数	2,573(+1)

昭和56年1月 発行・編集 / 茨城県行方郡北浦村役場



あけまして おめでとうございます

村内一周駅伝競争大会

役場前を出発する選手団

村長に 河野晴雲さんを再選

任期満了による村長選挙と
村議会議員補欠選挙(欠員一
名)は、十二月十八日告示・
十九日立候補が締め切られた
結果、村長選は河野晴雲さん
が無投票で再選されました。
又村議補欠選には前田了さ
・宮本弘道さんの二人が立候補
され、二十五日の投票において
宮本弘道さんが当選されました。

村議補欠選挙・開票結
果及び投票状況
無効
前田了 二、二六一票
宮本弘道 二、三九四票
六〇票

投票区	有権者	投票者数	投票率
繁昌	1,562人	776人	49.7%
山田	1,231	824	66.9
南高岡	481	291	60.5
小幡	841	573	68.1
行戸	576	519	90.1
小貫	1,270	613	48.3
両宿	1,279	665	52.0
三和	722	456	62.9
計	7,962	4,715	59.2

健康で住みよいふるさとのある村づくりを



村長 河野 晴 雲

村民のみなさん明けましておめでとございます。

輝かしい昭和五十六年の新春にあたり、皆さま方の益々のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

昨年十二月の村長選におきましては皆さんから絶大なご支援をいただき、おかげさまで無投票当選の栄を得ることができました。皆さんのご支持に対してここにあらためて厚く御礼申し上げます。

てきた史上初の深刻な厳しい情勢下にあつて、国家財政のピンチが地方財政の危機に一段と拍車をかける事態に遭遇することは自治体の共通する悩みであります。その中でいかにして村民優先の理念に立脚した行政の運営を図り、村民の期待にこたえるべきであるかを考えるとき、強い焦燥感をおぼえずにはいられません。あらためて村長としての責任の重さと、課せられた責務の大きさを痛感するものであります。

村民の尊い信託にこたえるためにも、何ものにもくじけない強い決意をもつて、新しい時代に生きるより人間性豊かな村づくり、とくに「健康で住みよい、うるおいのある村」の実現に精魂を傾けたいと考えております。

私は、行財政の一層の効率化を基本とし、次の六本の重点施策の進展をめざし、積極的に進めていく所存であります。

- 一、若者の本村定着の環境づくり
- 二、農林水産業の一層の振興を図るための基盤整備
- 三、道路整備
- 四、教育施設の整備
- 五、総合運動公園の充実
- 六、さらにうるおいのある心あたたかな福祉社会の建設

以上、山積する課題の実現はこれからの難関であり容易な途ではありません。これら実現のため村民の皆様の一層の村政参加、ご鞭撻とご協力をお願いしまして新年のあいさつといたします。



北浦村議会

へ十二月定例議会
・第六回臨時会

補正予算・五十四年度決算
認定・職員の給与改正など

第四回の定例議会は十一月二十八日から開かれ、休会（議案調査）をはさんで十二月三日までの六日間審議が行なわれました。一般・特別会計の補正予算、五十四年度の歳入歳出決算認定など、報告をふくめ十議案が原案どおり可決、承認されました。また、十二月二十三日には臨時議会が開催され、人事院勧告に基づく職員給与の引上げ及びそれぞれの補正予算が提案され、全議案原案どおり可決されました。

報告第6号

専決処分承認を求めるところについて
老人福祉センター温泉施設の工事請負費の増額に伴ない老人福祉センター特別会計の補正予算について専決処分をしたもので、報告し承認を得ました。

議案第42号・第43号

昭和五十五年度北浦村一般会計・国民健康保険特別会計補正予算について
一般会計
総額十八億九千二百五十三万五千円（二千一百万六千円を追加）
・総務費
旅費 九十二万九千円

光熱水費 二百五十万円
消耗品費 十九万四千円
工事請負費 五万円
報酬 七万三千元
賃金 六万八千円
報償費 減一万円
食糧費 減二万円
通信運搬費 減三千元
職員手当減二十三万九千円
民生費 九万円
報償費 十一万七千円
負担金・交付金百四十万円
医薬材料費減百九十九万円
委託料 減百十八万円
備品購入費 十九万円
農林水産業費 四万七千円
旅費 八万円
消耗品費 四十二万二千元
印刷製本費 三万四千元
負担金・交付金 二千五百五十二万八千円
報酬 十万円
委託料 減百万円
備品購入費四十九万五千円
土木費 十一万二千元
職員手当 十八万円
食糧費 五十万円
教育費 五十五万円
負担金・交付金

修繕料 十三万八千円
通信運搬費 七万円
委託料 減二百九十八万円
使用料・賃借料 十万円
工事請負費 減五百三十一万三千元
備品購入費 二百九十九万八千円
光熱水費百三十二万六千円
○国民健康保険
総額五億五千九百六十二万八千円（五百二十七万六千円を追加）
報 酬 五千元
諸支出金 五百二十七万一千円
償還金利子・割引料

「十ヶ沢玉川道」が農道整備事業として実施されるため提案され議決されました。

議案第46号

土地改良事業の施行について
長沢地区農道整備事業（大字行戸、長沢地区）延長千九百二十メートル 巾員五メートル 事業費一億二千三百四十万円が提案され議決されました。

認定第1号・第2号・第3号・第4号

昭和五十四年度北浦村一般会計・国民健康保険特別会計・老人福祉センター特別会計・簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
昭和五十四年度北浦村各種会計歳入歳出決算について監査委員の審査意見書も付され提案され承認を得ました。（内容は四ページ参照）

議案第47号

一般会計補正予算について
総額十八億九千三百五十九千円（五十二万四千円を追加）
・農林水産業費

負担金・交付金

五十二万四千円

臨時会

議案第48号

工事請負契約の変更について
三和小学校騒音防止対策工事にかかわる杭打工事において減額が生じたため提案され議決されました。
契約金額一億九千八百八十二万四千円（百五十七万六千円減額）

議案第49号

北浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告により一般職の職員の給与に関する法律が改正されたことに伴ない提案され議決されました。
引上げ率は、諸手当を含めて四・六一％で四月に逆昇つて実施します。

議案第50号・第51号・第52号

昭和五十五年度北浦村一般会計・国民健康保険特別会計・老人福祉センター特別

会計補正予算について

一般会計の給与改正に伴ない提案され議決されました。
なお、今回の改正による補正額は、当初の予算を下回ったために減額補正になりました。
○一般会計：五百四十三万五千円減額
○国民健康保険：八十九万円減額
○老人福祉センター：八十五万五千円減額

光熱水費 二百五十万円
消耗品費 十九万四千円
工事請負費 五万円
報酬 七万三千元
賃金 六万八千円
報償費 減一万円
食糧費 減二万円
通信運搬費 減三千元
職員手当減二十三万九千円
民生費 九万円
報償費 十一万七千円
負担金・交付金百四十万円
医薬材料費減百九十九万円
委託料 減百十八万円
備品購入費 十九万円
農林水産業費 四万七千円
旅費 八万円
消耗品費 四十二万二千元
印刷製本費 三万四千元
負担金・交付金 二千五百五十二万八千円
報酬 十万円
委託料 減百万円
備品購入費四十九万五千円
土木費 十一万二千元
職員手当 十八万円
食糧費 五十万円
教育費 五十五万円
負担金・交付金

修繕料 十三万八千円
通信運搬費 七万円
委託料 減二百九十八万円
使用料・賃借料 十万円
工事請負費 減五百三十一万三千元
備品購入費 二百九十九万八千円
光熱水費百三十二万六千円
○国民健康保険
総額五億五千九百六十二万八千円（五百二十七万六千円を追加）
報 酬 五千元
諸支出金 五百二十七万一千円
償還金利子・割引料

「十ヶ沢玉川道」が農道整備事業として実施されるため提案され議決されました。

負担金・交付金

五十二万四千円

臨時会

議案第48号

工事請負契約の変更について
三和小学校騒音防止対策工事にかかわる杭打工事において減額が生じたため提案され議決されました。
契約金額一億九千八百八十二万四千円（百五十七万六千円減額）

議案第49号

北浦村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
人事院勧告により一般職の職員の給与に関する法律が改正されたことに伴ない提案され議決されました。
引上げ率は、諸手当を含めて四・六一％で四月に逆昇つて実施します。

議案第50号・第51号・第52号

昭和五十五年度北浦村一般会計・国民健康保険特別会計・老人福祉センター特別



主要な事業の成果

《議会費》

- ・定例会4回、臨時会1回、常任委員会、特別委員会14回
- ・議会だより発行4回

《総務費》

- ・広報発行7回、週報発行29回、行政アンケート1回 1,721千円
- ・庁舎外構工事及びカーテン取付工事 49,315千円
- ・小幡駐在所敷地埋立工事 1,000千円
- ・村振興計画、実施計画の見直し
- ・カーブミラー、ガードレール及び防犯灯の設置 1,626千円
- ・県知事、衆議院、村議会、農業委員会選挙の啓発 6,624千円
- ・統計調査(1980世界農林業センサス指定統計) 5,300千円

《民生費》

- ・国民年金事業 16,298千円
- ・戦没者慰霊祭 684千円
- ・老人対策(健診、クラブ助成、敬老会、金婚式、福祉バスの購入等) 30,765千円
- ・老人医療費(所得制限者) 34,850千円
- ・医療福祉費(重度身障、0歳児) 18,426千円
- ・障害者住宅貸付金等 4,448千円
- ・北浦保育園助成費及び保育措置費 24,903千円
- ・子ども会各種事業費 631千円

《衛生費》

- ・健康診断、予防接種~9,546人 6,656千円
- ・カ、ハエ、家鼠駆除及び狂犬病予防注射~549頭 21,891千円
- ・母子健康センター(検診、指導、母子保健推進)~958人 1,852千円

《農林水産業費》

- ・農業委員会(農地法許可申請~250件、農業者年金加入促進~加入率47.5%、農業後継者結婚相談活動~21件) 26,216千円
- ・水田利用再編特別対策事業~転作面積171.0ha
- ・病虫害防除(水田~20.71ha、葉たばこ~375ha、みつば150ha) 1,580千円
- ・麦大豆生産振興対策事業 18,035千円
- ・米穀流通消費改善事業~指示数量2,035㌧、自主流通米71㌧
- ・農業生産組織育成(北部畑作改善組合41,819千円、南部畑作改善組合25

,512千円)

- ・生産出荷団体育成 3,153千円
- ・農業後継者対策
- ・家畜ふん尿有効利用促進事業 2,550千円
- ・飼料貯蔵設置事業 750千円
- ・土地改良(ほ場整備、ため池整備) 17,942千円
- ・農道整備 15,774千円
- ・地籍調査(山田II・III) 15,902千円
- ・林業振興~松くい虫防除、造林 1,119千円
- ・林道補修事業 746千円
- ・水産業振興 788千円

《土木費》

- ・車両購入費 3,702千円
- ・道路舗装工事~4,322m 53,400千円
- ・道路新設及び改良工事~3,208m 67,085千円
- ・用地買収費~20,523.98m² 14,309千円

《消防費》

- ・消防施設~格納庫・火の見・貯水槽~8,508千円、ポンプ車・積載車・ホース~13,367千円

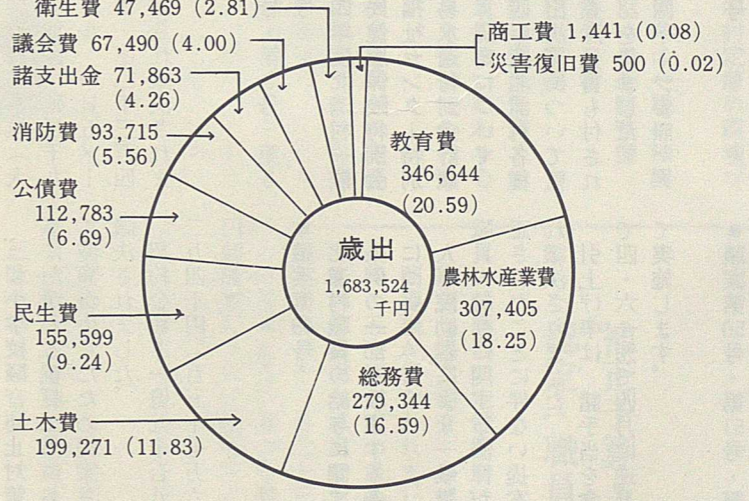
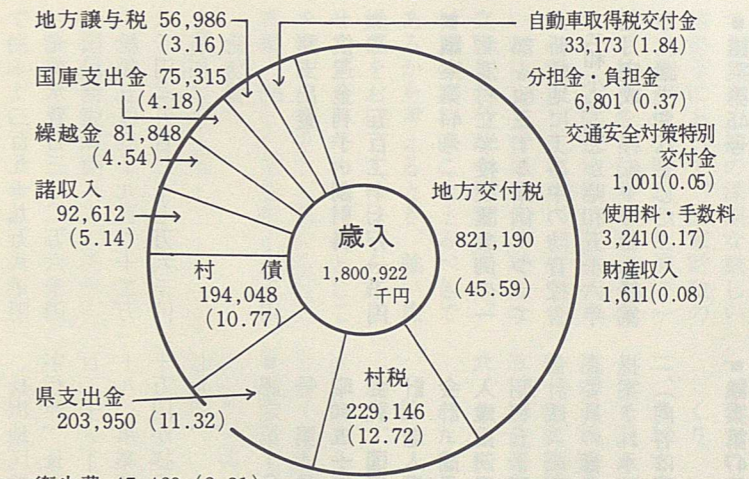
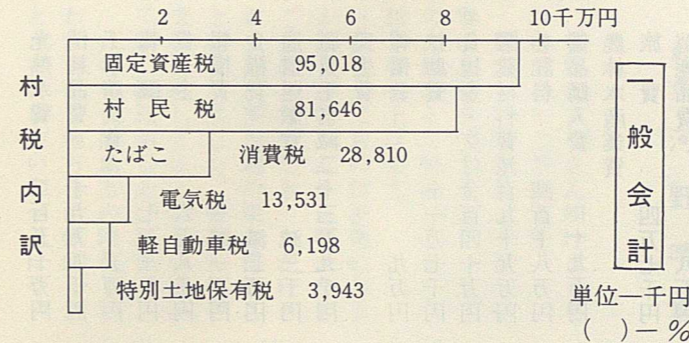
《教育費》

- ・義務教育教材整備 4,598千円
- ・要、準要保護児童生徒援助 1,145千円
- ・健康検査(寄生虫、尿)~3,484人
- ・各小学校廊下等工事費 5,366千円
- ・三和小学校敷地造成費 29,300千円
- ・要小学校プール新設 39,352千円
- ・中学校体育館サッシ取替工事等 3,175千円
- ・中学校防音改造改築実施設計委託料 4,974千円
- ・幼稚園通園バス委託料 9,600千円
- ・幼稚園健康検査(寄生虫、尿)~362人
- ・幼稚園駐車場整備工事 1,000千円
- ・社会教育(家庭教育・婦人・青年各学級)~741名
- ・公民館活動(生花・茶道・料理・写真等各教室、成人式・芸術祭等)~3,731人
- ・公民館座上防水工事等 2,824千円
- ・保健体育(郡体・少年スポーツ教室・ママさんバレー・お父さんソフト等) 6,671千円
- ・村民運動場建設 3,249千円
- ・学校給食(材料・自動車等) 96,021千円
- 《災害復旧費》
- ・災害復旧工事(南高岡) 5,000千円

54年度 歳入・歳出決算の概要

昭和五十四年度の、各種会計の歳入歳出決算が認定されましたので、事業の概要をお知らせします。

この欄では、全体的な歳入歳出状況と、それぞれの主に実施してきた事業についてあらいわしました。



事業執行を良好と認め、監査委員会の審査意見

各会計の歳入歳出決算は監査委員の審査を受けており、ますので、意見の要約をします。

各会計の内容は、計数的にはいづれも良好である。

一般会計の歳入は、税収など良好な収入と認められるが、土地保有税未済額については分割納付計画にもとづき、計画とおりの納付に努力された。また、村債は財政硬直化の傾向にあたるので、健全な財政運営に特段の配慮をされたい。歳出における事業執行は良好であるが、決算繰越金が多いのは、当初予算の積算の安易さが見受けられるので、「十二月前」に予算更正をし、財政運営の円滑を図りたい。剰余金は全額繰越せず積立に充てられたい。

国民健康保険特別会計は良好であるが、前納奨励金については税法上において規定がないので検討善処されたい。

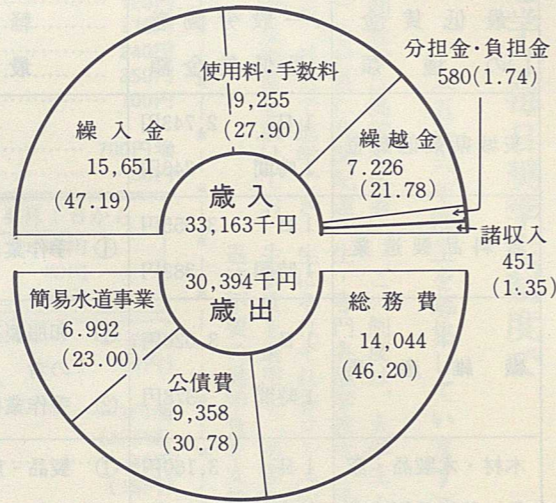
老人福祉センター特別会計は良好と認められるが、一般会計からの繰入金を検討したい。また、歳出における「老人の老人福祉センター一泊招待」は一般会計で処理するのが適当と思われる。

簡易水道事業特別会計は良好と認める。

おもな事業

- 〈総務費〉
 ・施設管理費（薬品代・電気料金
 消耗品等） 2,459千円
- 〈簡易水道事業費〉
 ・繁昌地区認可設計・水源調査委
 託料等 6,992千円

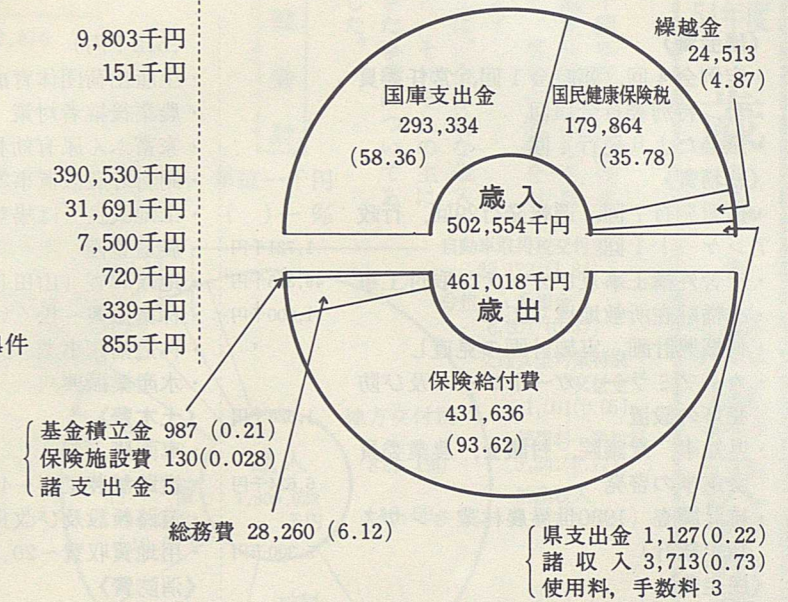
簡易水道特別会計



給付などのおもな事業

- 〈総務費〉
 ・納税奨励費 9,803千円
 ・国民健康保険のPR 151千円
- 〈保険給付費〉
 ・療養費—44,044件 390,530千円
 ・高額療養費—618件 31,691千円
 ・助産費—114件 7,500千円
 ・葬祭費—72件 720千円
 ・育児手当金—113件 339千円
 ・妊産婦医療手当金—154件 855千円

国民健康保険税特別会計



住民税の申告は
 所得税の確定申告

二月十六日からです

昭和五十五年の住民税の申告・所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告期限は三月十六日ですが、期限間近になりますと申告会場はたいへん混雑しますので、定められた期日に済ませましょう。(日程表は後日郵送又は、区長経由で配布されます。)

所得税は、個人が一年間に得た所得に対してかかる税金です。

確定申告をしなければならぬのは、次のような方々です。

①事業をしている人、不動産収入のある人、土地や建物を売った人などです。

②サラリーマンの方で、二ヶ所以上から給与を受けている人、給与以外の所得が二十万円を超える人——などです。

次のような場合は確定申告をしないと源泉徴収された所得税が戻ってきません。

- ①住宅を新築したり、新築住宅を購入したとき。
 ②入院などで多額の医療費を支払ったとき。
 ③災害や盗難にあったとき——などです。

これら税金の還付金を受け取るための申告は、二月十六日前でも受け付けています。税額の計算の仕方、申告書の書き方などでわからない点がありましたら、役場税務課、汐来税務署までおたずねください。

でんでんニュース

- 夜・七時から「夜間割引」
 (60 km 以上)
- 夜・九時から「深夜割引」
 (320 km 以上)

電々公社では、電話料金の遠近距離通話料の格差是正を

図る一環として、「深夜割引」の新設と「夜間割引」対象時間の拡大を昨年十一月二十七日から実施しています。



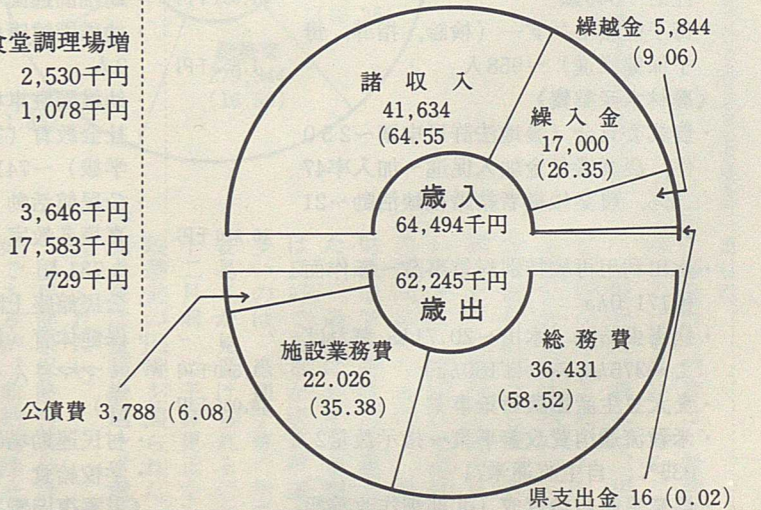
◎ 深夜割引の新設
 現在六十キロメートルを超える区間について午後八時から翌日午前七時までの間「夜間割引」(四割引)を実施していますが、三百二十キロメートルを超える遠距離区間について深夜時間帯にさらにもう一段の割引を行い、午後九時から翌日午前六時までの間「深夜割引」(六割引)になります。(交換手扱いの通話には深夜割引は適用されません)

◎ 夜間割引時間の拡大
 現在の夜間割引時間帯を前後それぞれ一時間拡大して、午後七時から翌日午前八時までとなりました。

おもな事業

- 〈総務費〉
 ・浴場ボイラー取付工事及び食堂調理場増改築工事 2,530千円
 ・老人クラブ泊招待事業 1,078千円
- 〈施設業務費〉
 ・燃料費, 消耗品等 3,646千円
 ・原材料費 17,583千円
 ・調理場流し台等 729千円

老人福祉センター特別会計



●主な通常郵便物の料金

Table with columns for mail type (First, Second, Third), weight, and price. Includes categories like '定型郵便物' and '郵便書簡'.

Table with columns for '第二種' mail types (通常はがき, 往復はがき, 小包はがき) and prices for '3月31日まで' and '4月1日から'.

Table for '第三種' mail types (新聞紙, 上記以外の第三種郵便物) with prices for '50gまで' and '50gを超え, 1kgまで'.

()内は、あらかじめ差し出そうとする郵便局の承認を受けた心身障害者団体が発行するものの料金

Table for '第四種' mail types (通信教育のためのもの, 盲人用点字, 農産種苗, 学術刊行物) with various weight and price specifications.

●主な特殊取扱の料金

Table for special handling fees (書留現金, 現金以外, 簡易書留) with damage compensation amounts and prices.

Table for '速達' (Express) mail types (通常郵便物, 小包郵便物) with weight and price details.

航空小包郵便物は、上記金額に航空運送距離に応じた金額を加えた金額となります。

●主な手数料

- List of fees including '切手類等の交換手数料', '料金受取人払いの手数料', and '未納不足料'.

進学は毎日奨学生制度で (五十六年度生を募集しています) 毎日新聞社では高校卒業業者(見込者)を対象に新聞配達をしながら、自力で進学できる毎日奨学生制度を設けてお

か、食費・住居など一切をお世話するものです。詳しい案内書(無料)をお送りしますので、左記へ高校名、氏名、住所、電話番号を書き添えて申し込みください。

郵便料金が改定になりました 郵便法等の一部が改正され、一月二十日より実施されます。なお小包郵便物の料金は据置されています。料金の改定内容、その他詳細については郵便局までお問い合わせください。



茨城県最低賃金・産業別最低賃金一覧表

Large table showing minimum wage rates for various industries in Ibaraki Prefecture, including '茨城県最低賃金', '食料品製造業', '繊維産業', etc.

注 1. 茨城県最低賃金は55年9月30日、その他については55年12月20日から適用されます。 2. 精皆勤手当・通勤手当・家族手当は、各最低賃金より除外されています。

進学資金のご案内 ご利用いただける方 高校・短大・大学等に進学されるための資金を必要とされる方 融資金額 一世帯五十万円以内 融資期間 高校三年以内・大学四年以内(希望により期間内で一年以内の据置もできます) 利率 年八・八% 保証人 一名以上 返済方法 毎月元利均等返済 取り扱い期間 昭和五十六年一月～四月まで 詳しいことは、国民金融公庫土浦支店まで(土浦市中央二二二一六〇二九九八二二四一四一)

母子・寡婦福祉資金のご利用を

母子福祉資金の貸付制度

母子家庭の経済自立の助成と生活意欲の助長をはかり、

貸付金の種類	限度額	償還期限	利子		
事業開始資金	1,400,000円	7年	年3%		
事業継続資金	700,000円	3.5年	年3%		
修学資金	一般	20年	無利子		
	特別				
	高校			月額18,000円	月額20,000円
	高専			月額19,000円	月額21,000円
	短大			月額26,000円	月額28,000円
	大学			月額27,000円	月額29,000円
専修学校	27,000円				
技能修得資金	(月額) 12,000円	10年	年3%		
修業資金	(月額) 12,000円	5年	年3% 修業施設へ入所するもの無利子		
就職支度資金	60,000円	5年	年3%		
療養資金	200,000円	5年	年3%		
生活資金	(月額) 62,000円	技能10年 療養5年	年3%		
住宅資金	通常 750,000円 災害時 900,000円	6年	年3%		
転宅資金	56,000円	3年	年3%		
就学支度資金	60,000円	修業5年 修学20年	無利子		
(寡婦のみ)結婚資金	130,000円	5年	年3%		

* 修学資金の貸付額は、公立、私立、学年により金額がちがいます。

あわせてその扶養している児童(二十歳未満)の福祉を増進するために母子福祉法により母子福祉資金の貸付制度があります。

この制度は、物的担保を必要としませんが、利子も安く特別の配慮がされています。

○貸付対象者
配偶者と死別及び生別した女子等で現に二十歳未満の児童を扶養している者

○貸付金の種類 (表のとおり)

寡婦福祉資金の貸付制度

児童が二十歳をこえること等により母子福祉資金貸付の対象とならない四十歳以上の寡婦世帯に対しても福祉対策が及ぶようにもうけられた貸付制度です。

○貸付金の種類 (表のとおり)
なお、子を扶養していない寡婦については所得制限があります。

*貸付金の借受申し込み等詳しいことは役場住民課へお問い合わせください。

2月は
"消エネルギー" 月間です

貴重なエネルギー・電気を大切にしましょう

◎こたつの下にはマットやジュタンを敷きましょう。
◎上にかけるふとんは厚手で大きめなものを使いましょう

拠出年金・福祉年金が改善されました

今回の改正は、社会経済状況の変動に応じ財政再計算を実施し、制度全般についての見直しが行なわれたもので、年金額の引上げ、母子加算の創設(月一万五千元)、保険料の改定などが中心となっています。

〈制度改正の概要は別表〉

●国民年金の請求はこのように

国民年金の老齢年金(通算老齢年金)は、保険料を納めた期間と保険料の納付を免除された期間が25年(昭和五年)四月一日以前に生まれた人は年齢に応じて24年から10年までに短縮されます。以上ある人が、六十五歳になったときに(六十歳から繰り上げて請求を希望するとき)に受けられることになっています。

年金は自動的に支払われるものでなく、本人から年金の請求をしていただくことが必要になっていきます。

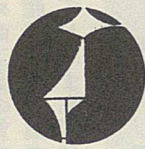
老齢年金や通算老齢年金の請求は、印かん持参の上役場の年金係まで申し出てください。

昭和55年度国民年金制度改正

区分	改正項目	改正前	改正後	実施時期	
拠出年金	老齢年金	25年年金	月額39,225円	月額42,000円	55年7月実施
		10年年金	月額24,742円	月額26,550円	"
		5年年金	月額20,108円	月額21,600円	55年8月から 月額22,600円
	障害年金	1級	月額49,792円	月額52,250円	55年7月実施
		2級	月額39,833円	月額41,800円	
年金	母子・準母子・遺児年金	月額39,833円	月額41,800円	"	
	母子・準母子加算の創設 他制度から遺族年金を受けられない人を対象。また、他制度から老齢年金、障害年金を受けるときは、加算分は停止。		月額15,000円 (参考) 母と子1人 月額56,800円	55年8月実施	
	母子・準母子・遺児年金の加算額の引き上げ	第2子	月額2,000円	月額5,000円	55年7月実施
		第3子以降	月額400円	月額2,000円	
	福祉年金	老齢福祉年金	月額20,000円	月額22,500円	55年8月実施
障害福祉年金		1級	月額30,000円	月額33,800円	"
		2級	月額20,000円	月額22,500円	"
母子・準母子福祉年金		月額26,000円	月額39,300円	"	

国勢調査

ご協力ありがとうございました



十月一日実施しました国勢調査は、皆様のご協力により、スムーズに行なうことができました。

その結果、北浦村の人口・世帯数は下表のとおりです。

単位に集計したので部落単位の数には多少の相違があります。また、総理府統計局の公表、ならびに県で公表する概数発表と、異なる場合もあります。

北浦村の人口と世帯

(昭和55年国勢調査) S55・10・1 △印減

区分	昭和55年国勢調査		昭和50年国勢調査		差引増減	
	世帯数	世帯人員	世帯数	世帯人員	世帯数	世帯人員
吉川	100	480	104	502	△ 4	△ 22
繁昌	276	1,223	267	1,215	9	8
中根	89	404	94	439	△ 5	△ 35
山田	387	1,657	390	1,658	△ 3	△ 1
津澄地区	852	3,764	855	3,814	△ 3	△ 50
行戸	169	803	171	801	△ 2	2
小幡	243	1,164	240	1,181	3	△ 17
南高岡	96	456	96	477		△ 21
北高岡	48	208	46	218	2	△ 10
要地区	556	2,631	553	2,677	3	△ 46
両宿	131	622	122	566	9	56
内宿	116	523	97	430	19	93
成田	81	466	75	400	6	66
三和	148	666	150	695	△ 2	△ 29
長野江	61	261	78	341	△ 17	△ 80
次木	115	516	70	310	45	206
小貫	327	1,503	368	1,686	△ 41	△ 183
武田地区	979	4,557	960	4,428	19	129
北浦村合計	2,387	10,952	2,368	10,919	19	33

●シリーズ/どんな仕事をしていますか

⑦ 産業課

農業経営や商業経営の安定のため、土地改良事業をはじめ、商工会の育成など、農林水産業・商工業の発展を推進しております。

課内の概要

課長・宮内治

- (農政係) 係長小沢健一
主事真家さき江 主事細内好一 主事木村茂
- 水田利用再編対策事業
- 主要農産物の生産振興
- 農作物種子更新
- 農作物の災害対策
- 水産業の振興
- 病害虫の防除
- 果樹園芸の新興
- 林業の新興
- 米穀流通消費改善事業
- 農業関係資金の手続
- 商工業の振興
- 計量検査
- 畜産の振興及び事故防止
- 各種団体の育成指導
- (土地改良係) 係長齋藤勝利 主事山本耕造 主事古渡栄次 主事松信昌栄 主事辺田洋一郎

水田利用再編第二期 対策の推進について

水田利用再編対策は、米の需給均衡を回復し需要の動向に適切に対応し得る地域農業生産を図るため、昭和五十三年度を第一期対策として三ヶ年推進してまいりました。この間、農家の皆さんのご協力により各年度とも一定の実績を上げることができました。本対策も昭和五十六年度からは、新たに第二期に移行することになります。米の需給状況をみますと、米の消費拡大について種々努力が払われているにもかかわらず米の需要の減退傾向はさげられず、また水稲生産力の向上もあつ

て現在なお過剰基調にあり、依然として深刻な事態が続いております。

このような状況から国においては第二期対策の実施にあたっては、今後の農業生産の基本方向に即し、需要の動向に応じた農業生産の再編成と生産性の向上をはかる目的で転作の定着化を推進する方針が定められました。

この方針に基づき先般昭和五十六年度以降の転作等目標面積が各県に対し配分されました。さらに県から各市町村にそれぞれ配分され、本村にも一八七・七ヘクタール、さらに、昭和五十七年度以降二〇三ヘクタールが配分されました。

こうした状況から今後、対策の推進にあたりましては農家にとつて極めてきびしい諸事情もあることと存じますが、本事業の趣旨を充分ご理解いただき本村農業の新しい発展のためご協力をよろしくお願いたします。

資源を大切にしよう!

—— 廃ビニールの回収 ——

熱光学的作用を期待して、ほとんどの農作物に使用されている塩化ビニールフィルム等は、焼却すれば有毒な塩素ガスが発生し、埋立て処理にも不便を期しておりますが、資源の枯渇が叫ばれる中、使用済の廃ビニールは、再成原料として加工され資源の有効利用を促すことになりました。皆さんのご協力をお願いいたします。



▲ 収穫後このビニールはどうなるでしょう

- ◎塩化ビニールはハウス用とマルチ用に分けてください。
- ◎酢酸ビニールとポリエチレンは別にしてください。
- 梱包は、折たたみ形にして20kg程度にし、木片・石・空カン等ゴミ類は入れないでください。
- 集積場所は―農協本所 農協要支所 農協武田支所

レン、酢酸ビニール置き場の看板があります。に集積してください。なお、廃ビニールの回収処理は「二月」からの予定ですので詳しいことは、役場産業課まで問い合わせください。

ふる里の行事

正月おたのしみ大会



一月十四日要小学校で、恒例の正月おたのしみ大会が行われました。

一七九名(一年生から六年生まで)の元気な児童たちがなわとび、羽根つき、たこあげ、竹馬乗り、餅つきなどに興じました。

この日は、PTAの役員が中心となり、お父さん、お母

さん達が材料をもち寄り、子供たちといっしょになって、アンコロ餅、雑煮餅に舌づつみを打ちながら楽しい一日を過ごしました。

○鳥追い小屋、最近では忘れられた存在になり昔がなつかしく思われます。

○つきたてのアンコロ餅、雑煮餅がおいしく、おかわりが続出



消防出初式

優良分団表彰や放水訓練

正月恒例の消防団出初式は一月十七日行なわれ、分列行進、服装及び機械器具の点検が行なわれました。

また優良分団や永年勤続者の表彰を行いました。

- 北浦村長表彰 泉 力・第一分団第一部(津澄)・第二分団第一部(要)・第二分団第二部(要)
- (財)・日本消防協会会長表彰 永年勤続章 柏原久一郎
- ・伊勢山一郎
- 茨城県知事表彰 永年勤続功労章 村上政衛
- 〈二十年〉梶山保・堀 浩
- 茨城県消防協会会長表彰 功労章 根本侃之介 永年勤続消防職団員妻女章 村上愛子



村内駅伝大会

北浦中Aが大会新(1時間
20分23秒)で総合優勝

駅伝の結果

	順位	チ ャ ム 名	時 間	総合順位
一 般 の 部	1	北 浦 陸 協	1'24'24"	2
	2	山 田 祭 保 存 会	1'28'10"	4
	3	三 育 ク ラ ブ	1'28'29"	8
	4	Y ・ P ・ C 会	1'30'49"	10
	5	武 鹿 行 北 部 消 防 署	1'32'28"	11
	6	鹿 行 北 部 消 防 署	1'33'00"	12
	7	麻 生 警 察 署	1'33'29"	13
	8	長 野 江 ク ラ ブ	1'36'07"	15
	9	役 場 A 団	1'36'53"	16
	10	青 年 団	1'42'27"	17
	11	役 場 B	1'44'06"	18
中 学 生 の 部	1	北 浦 中 A	1'20'23"	1
	2	北 浦 中 B	1'25'49"	3
	3	北 浦 中 バ ス ケ ッ ト	1'28'15"	5
	4	三 育 中 A	1'28'17"	6
	5	北 浦 中 サ ッ カ ー A	1'28'22"	7
	6	北 浦 中 サ ッ カ ー B	1'29'57"	9
	7	三 育 中 B	1'35'45"	14

■第一回ソフトボール大会
優勝 両宿クラブ
準優勝 小貫若葉クラブ
三位 山田若葉クラブ
〃 小貫④クラブ

■ママさんバレーボール大会
優勝 津澄小PTA・A

準優勝 小貫小PTA
三位 北浦中PTA
〃 北浦中PTA
要小PTA

善意

津澄小学校へ、次の方々より寄贈がありました。

- 雑布「百枚」 齋藤しずえさん(繁昌)より
- 教材用球根(チューリップ・すいせん)「千五百球」横田勝男さん(繁昌)より
- 体育館ステージ用移動照明一組 吉川地区民(区長・小沼和夫)より
- 一輪車「五台」 北浦サービス会(会長・辺田直義)より……北浦サービス会では、一輪車を村内各小学校に順次寄贈することになっております。



▶さっそく試乗してみましたがおまくのれませぬ

小貫小学校へ、次の方々より寄贈がありました。

- アルミ骨ガラス張フレイム(二九・八三平方米)及び暖房施設 赤名貞夫さん 阿部稔さん 大塚忠男さん 高柳民雄さん 堀田秀人さん 本多一男さん 野原正男さん 野原八郎さん 野原義雄さん(小貫)より
- ◎ 第一回村民ゴルフチャリティ大会(白帆CC)が開催され、参加費の一部(六万円)が村の善意銀行へ預託がありました。



▶高橋大会長より北浦村長にチャリティ費が贈られる

◎北浦三育中学校より「福祉のための慈善音楽会」での収益金(十七万円)が村の善意銀行へ預託がありました。

また、北浦村公民館要分館に、金一万円の寄託がありました。ありがとうございました。

あとがき

○あけておめでとございます。コミュニティをめざした住みよい村づくりのために、一同頑張りますのでよろしく願います。

○三和小学校も三月完成をめぐり、急ピッチの工事です。○新年度予算案の編成中ですが、国家財政の厳しい情勢下において、地方財政も苦しい台所です。

○遅くはりましたが、昭和五十四年度の決算を発表しました。

